

【i-PRO機器設定】

ナンバーキャッチシステム

③ASM300外部機器連動編

2025.9

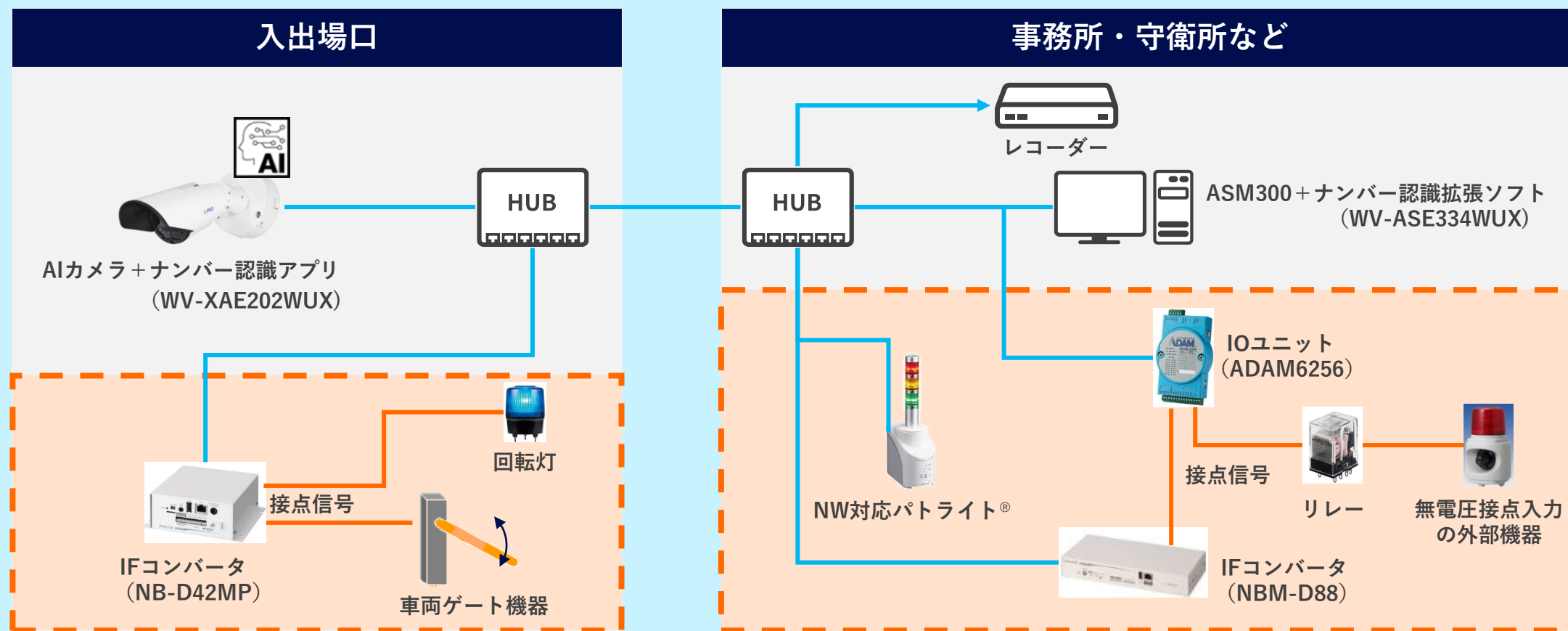
パナソニック コネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー
映像メディアサービス本部
プロダクト推進部

Panasonic
CONNECT

本資料はi-PRO AIカメラを使用したナンバー認識システム“**NumberCATCH II**”のシステム導入を行うための手引きで、映像監視ソフトウェアWV-ASM300のナンバー認識用機能拡張ソフトウェアWV-ASE334にて、IOユニットを介して外部機器との連動を行うための作業手順をまとめたものです。

■ システム例

本資料の対象範囲



STEP1 IOユニットの設定 P.4

1-1 IOユニットの仕様 P.5

1-2 IOユニットのIPアドレス設定 P.6

1-3 ナンバー認識拡張ソフトウェア(ASE334)への登録 P.8

STEP2 IOユニットの接続 P.9

2-1 無電圧接点出力方法 P.10

STEP3 車両入門ゲートとの連携 P.11

3-1 ゲート連携時のカメラアプリ設定 P.12

3-2 入門ゲートが分散して複数ある場合 P.13

3-3 IOユニットとIFコンバーターの接続 P.14

3-4 IFコンバーターの設定 P,15

3-5 パトライトの設定 P.22

【参考】アラーム/外部機器連動 設計シート P.26

STEP1 IOユニットの設定

機能拡張ソフトウェア(ASE334)×外部機器連動には、下記IOユニットが指定です。

※アラーム発生時に、ネットワーク経由でIOユニットから接点信号を出力可能です。

①本体 品番：ADAM-6256

16ch絶縁型デジタル出力 Modbus TCPモジュール

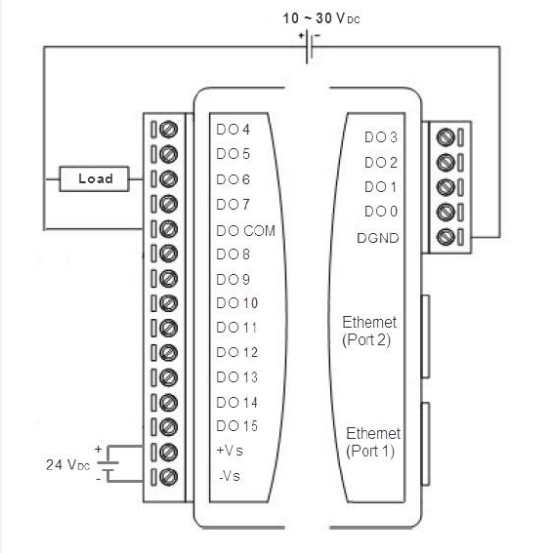
- ・I/Oタイプ：16-ch DO & イーサネットx2ポート
- ・自動バイパス保護デ이지チェーン接続
- ・モバイルデバイスによるリモート監視およびコントロール
- ・マルチモジュール接続のためのグループコンフィギュレーション機能
- ・フレキシブルなユーザ定義Modbusアドレス
- ・P2PおよびGCL機能によるインテリジェントコントロール機能
- ・マルチプロトコル: Modbus TCP, TCP/IP, UDP, HTTP, DHCP
- ・マルチプロトコル: Modbus TCP, TCP/IP, UDP, HTTP, DHCP
- ・Web言語: XML, HTML 5, Java Script



■仕様

Power consumption	ADAM-6217: 3.5W @24 V _{DC}
	ADAM-6224: 6.0W @24 V _{DC}
	ADAM-6250: 3.0W @24 V _{DC}
	ADAM-6251: 2.7W @24 V _{DC}
	ADAM-6256: 3.2W @24 V _{DC}
	ADAM-6260: 4.5W @24 V _{DC}
	ADAM-6266: 4.2W @24 V _{DC}
Digital Output	Description
Channel	ADAM-6250: 7 (Sink Type) ADAM-6256: 16 (Sink Type)
Output Voltage Range	10 ~ 30 V _{DC}
Normal Output Current	100 mA (per channel)
Pulse Output	Up to 5kHz
Delay Output	High-to-Low and Low-to-High

■接続図



②ACアダプター 品番：96PSA-A60W24T2

- ・FSP Adapter AC to DC 100-240V 60W
- ・24V C14 Cord End Terminal 2 Pin



③ACコード 品番：1700000237

- ・PSE対応電源ケーブル：IEC C13 搭載電源ケーブル 1.83m (C14のコネクタ向け)



【注意事項】

- ・ナンバー認識ソフトASE334に登録できるIOユニットは1台のみです。
- ・ADAM-6256の接点出力は最大16ポート(DO0~15)です。
- ・出力ポートが7ポートのADAM-6250も使用できます。
- ・ACアダプタとACコードは別売になっています。

事前にIOユニットのIPアドレスを設定します。

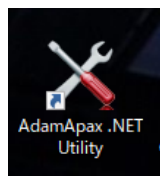
- ① 専用の設定ツールソフト「Adam/Apax.NET Utility」を以下のURLからPCにダウンロードします。

<https://www.advantech.com/ja-jp/support/details/utility?id=1-2AKUDB>

- ② ダウンロードしたファイル「AdamApax .NET Utility V****」を実行し、設定ツールをPCにインストールします。

- ③ 設定するIOユニットADAM-6256をPCと同じネットワークに接続します。

- ④ 設定ツールを起動します。

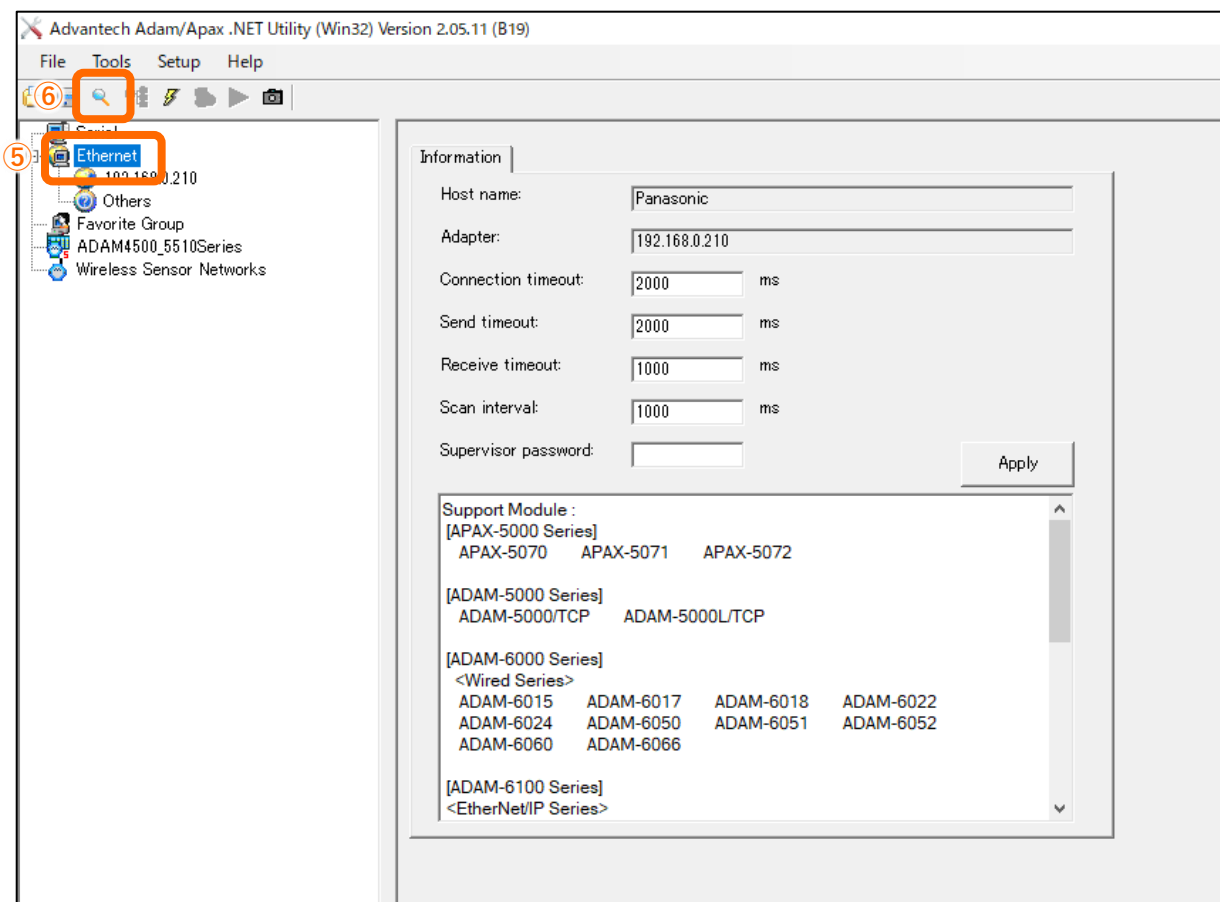


- ⑤ 右の画面が表示されたら、「Ethernet」をクリック。

- ⑥ メニューバーの虫眼鏡のアイコンをクリックするか、「Ethernet」上で右クリックし「Search Device」を実行。



ネットワーク上のADAM-6256の検索を開始します。



1-2 IOユニットのIPアドレス設定 (2/2)

IOユニットの検出ができると機器ツリーに表示されます。

⑦ 設定するIOユニットをクリックし選択。

⑧ 右画面の「Network」タブをクリック。

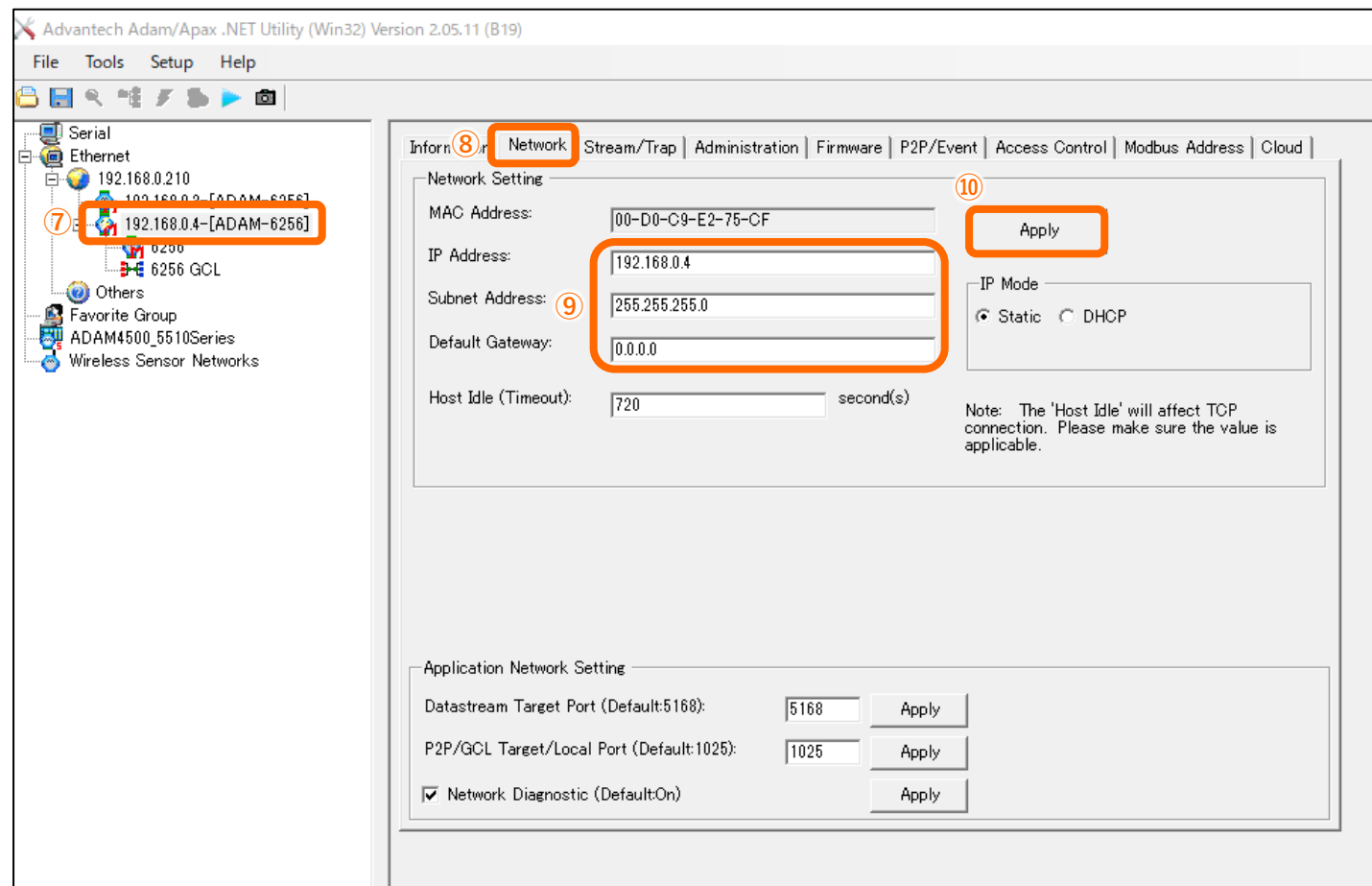
⑨ IPアドレス、サブネットマスク等を入力。

⑩ 最後に「Apply」をクリック。



パスワードが要求されたら以下を入力

00000000 (ゼロが8個)



ナンバー認識拡張ソフト(ASE334)に、IOユニットの登録を行います。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「IOユニット設定」タブをクリック。
以下、出力側について設定を行います。
- ② 使用するIOユニットの品番を以下より選択。
 - ・ ADAM-6250：出力7系統（CH0～CH6）
 - ・ ADAM-6256：出力16系統（CH0～CH15）
- ③ IOユニットのIPアドレスを設定
- ④ ポート番号を設定 → 「502」 にする
- ⑤ 各CHの端子名（動作や用途）を入力。
- ⑥ 出力時の接点信号のオン時間を選択。
 - ・ 設定値：300ミリ秒/600ミリ秒/5秒/10秒/15秒/30秒/45秒/60秒
- ⑦ 最後に「設定保存」をクリック

基本設定	カメラ設定	登録ナンバーリスト設定	照合ルール設定	滞留ルール設定
アラーム設定	履歴ルール設定	バックアップ設定	IOユニット設定	メンテナンス設定

入力	出力
品番 <input type="text" value="なし"/>	品番 ② <input type="text" value="ADAM-6256"/>
IPアドレス <input type="text" value=""/>	IPアドレス ③ <input type="text" value="192.168.0.190"/>
ポート番号 <input type="text" value=""/>	ポート番号 ④ <input type="text" value="502"/>

CH	モード	端子名
0	L→H	
1	L→H	
2	L→H	
3	L→H	
4	L→H	
5	L→H	
6	L→H	
7	L→H	
8	L→H	

CH	端子名	時間設定
0	パトライト：緑	⑥ 5秒
⑤ 1	パトライト：赤	60秒
2	ゲート：OPEN	600ミリ秒
3	ゲート：CLOSE	600ミリ秒
4	出力端子4	5秒
5	出力端子5	5秒
6	出力端子6	300ミリ秒
7	出力端子8	5秒
8	出力端子9	5秒

⑦ 設定保存

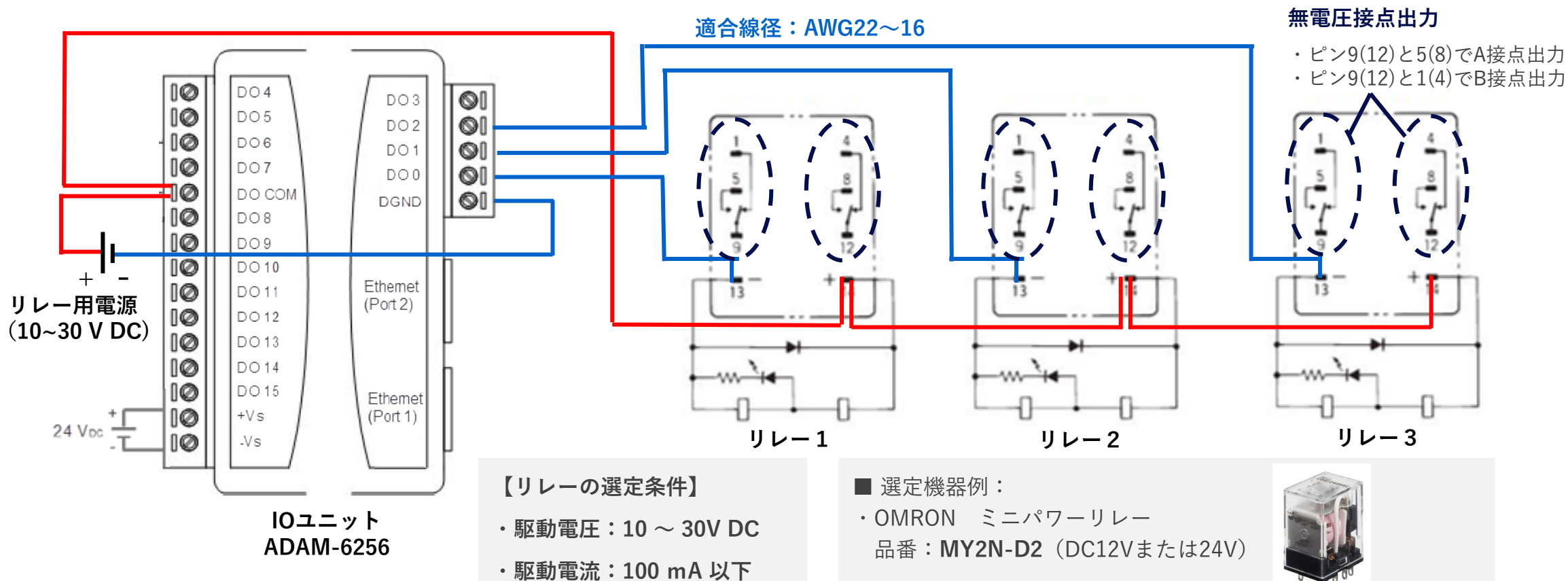
【参考：IOユニット（ADM-6250/6256）の出荷時の接点出力動作】

・パルス出力でノーマルオープン（NO）です。

STEP2 IOユニットの接続

無電圧接点入力が必要な機器との接続時は、リレーを介して接続してください。

※IOユニット ADAM-6256 の出力ポートは、無電圧接点出力(DRY接点)ではありません。



■ 選定機器例：

・ OMRON ミニパワーリレー
品番：MY2N-D2 (DC12Vまたは24V)



・ リレー用 ソケット
品番：PYFZ-08-E



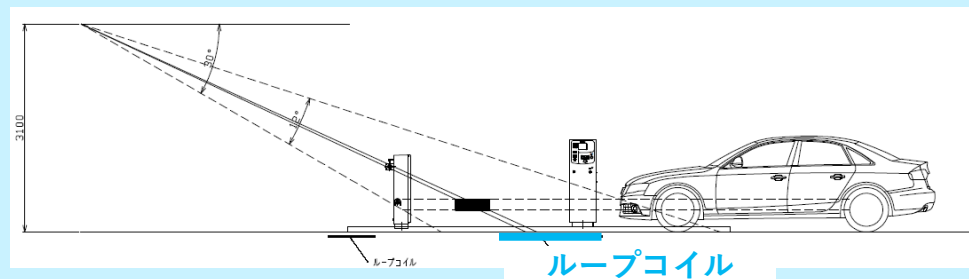
STEP3 車両入門ゲートとの連携

ゲート機器と連携時 ナンバー認識アプリの設定変更が必要になる場合がございます。

※XAE202の初期設定：同一車両のナンバー認識情報は1回しか送信しない

① 最初のナンバー情報送信

この状態でナンバーを読み取り、登録車両であった場合に照合アラームでIOユニットから接点信号を出しても、車両がまだループコイルの位置まで到達していないため、ゲートは開かない。



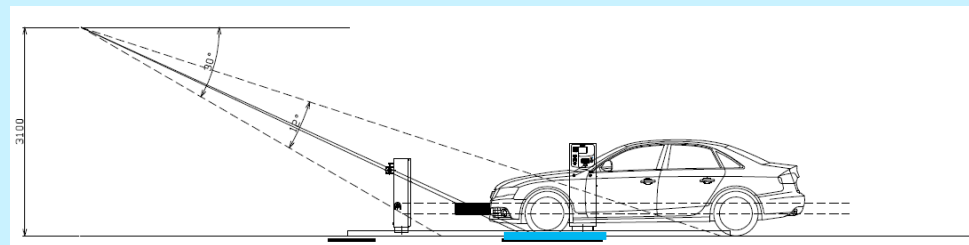
② 2度目のナンバー情報送信

車両がループコイルの位置に達した状態で、IOユニットから接点信号を出すとゲートは開く。



現場環境に応じて同一車両のナンバー情報の送信間隔を調整する。

または、ゲート機器の仕様によっては、最初のナンバー情報送信時のゲート機器への接点信号のON(メク)時間を長くして対応する方法もあり。



■ 同一車両のナンバー情報送信間隔の設定方法（【商品説明資料】ナンバーキャッチシステム ①カメラ編 を参照）

WV-XAE202Wの詳細設定：「同一車両の送信間隔」を“1秒”に設定してください。

※1秒以外にする場合は、PCのブラウザから下記CGIコマンドで設定してください。

[http://\(カメラIPアドレス\)/cgibin/adam.cgi?methodName=setApplicationPreference&appName=NumCatchApp&prefType=Integer&prefName=lpr_bs_stop_interval&value=3](http://(カメラIPアドレス)/cgibin/adam.cgi?methodName=setApplicationPreference&appName=NumCatchApp&prefType=Integer&prefName=lpr_bs_stop_interval&value=3)

※秒数を変更したい場合は、上記CGIの最後の“value=”の数値を秒数単位で設定してください。例) 3秒間隔で通知する場合：value=3

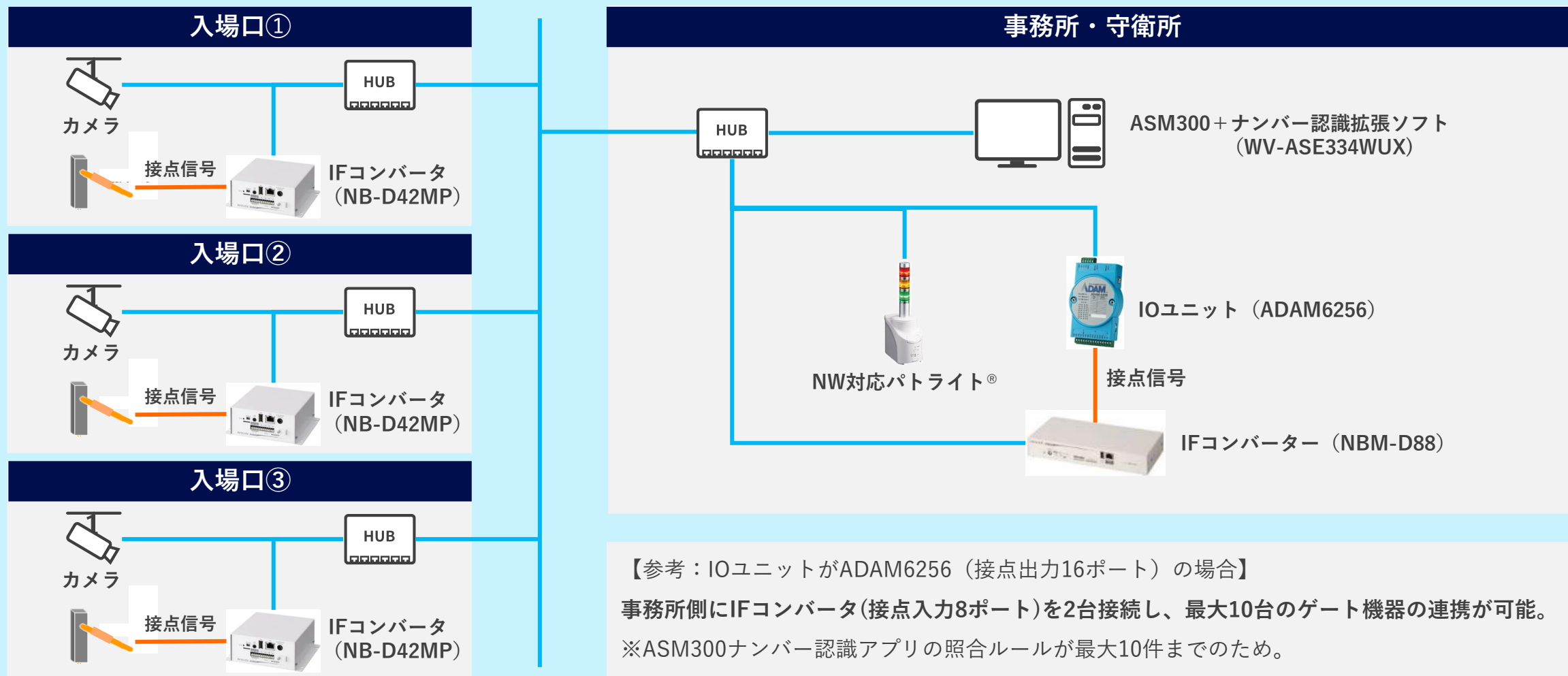
※WV-XAE202WのV1.10以降で有効



3-2 入門ゲートが分散して複数ある場合

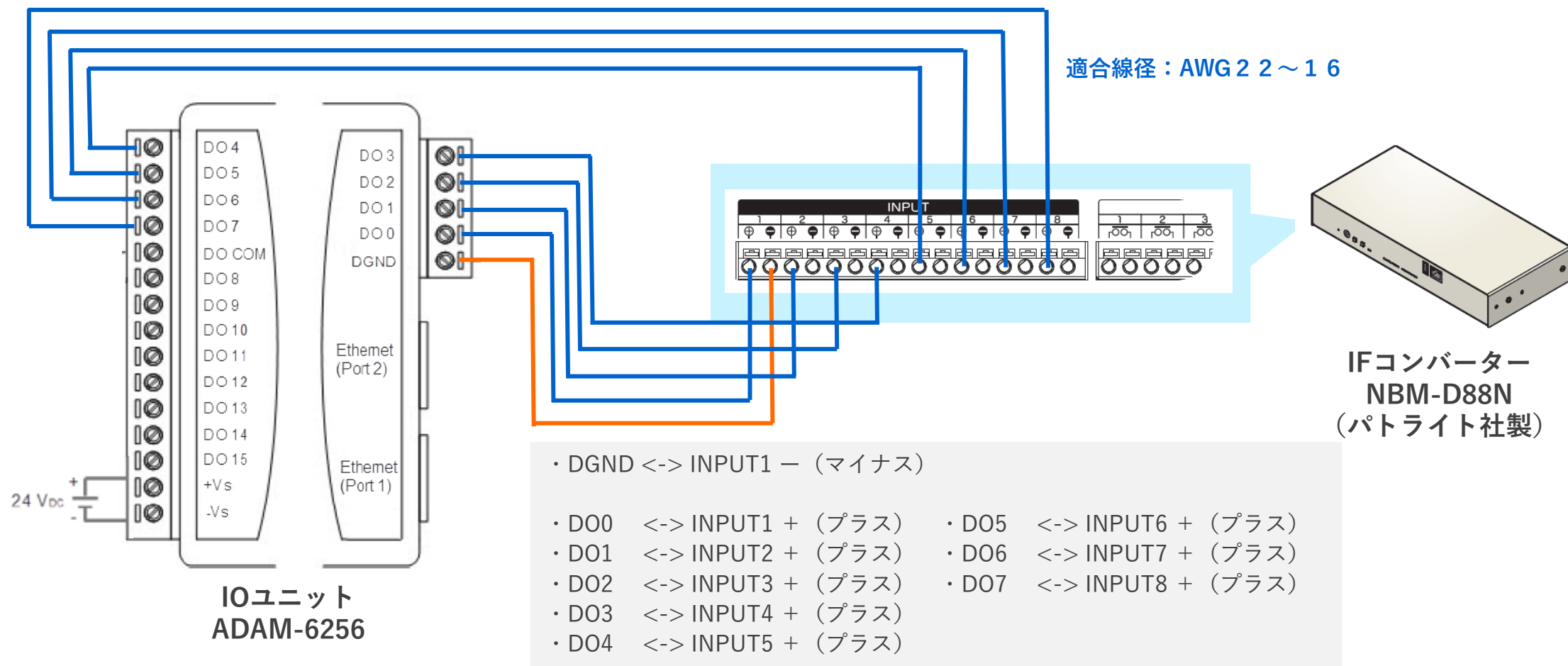
ゲートが複数存在 かつ 離れている場合 パトライト社製機器使用を推奨します。

※ASM300拡張ソフト(ASE334)に登録可能なIOユニットは1台のみのため



IOユニット と IFコンバーター は、下記のように接続してください。

※IFコンバータの接点入力がNPNトランジスタに対応しているため、リレーを介さなくても動作可能です。



IFコンバーターを使用して、離れた場所のパトライトや別IFコンバーターのネットワーク経由での制御方法を次ページ以降で説明します。

■ システム例





【事務所側 NBM-D88】 IPアドレスの設定を行います。

① PCのブラウザでIFコンバーターにアクセス

※出荷時のアドレス：192.168.10.1

② ログイン画面でパスワードを入力

※出荷時のパスワード：patlite

③ 「セットアップ項目」 > 「システム設定」を選択

④ IPアドレス設定方法を「手動で設定する」にし、
IPアドレス情報を入力

⑤ 「設定」をクリック



⑥ 画面が切り替わったら、「ネットワークの再起動」をクリック

The screenshot shows the PATLITE Network Interface Converter web interface. The left sidebar contains a menu with 'システム設定' (System Settings) highlighted and circled in orange, with a circled '3' next to it. The main content area is titled 'システム設定' (System Settings). It contains several fields for configuration:

- Machine Name: NBM-D88
- Installation Location: (empty)
- Contact: nbm@patlite.jp
- Log Host Address: (empty)
- IP Address Setting Method: ☒ 手動で設定する (Manually set) ☐ 自動的に取得する (Automatically obtain)
- Body IP Address: 192.168.0.211
- Netmask: 255.255.255.0
- Default Gateway: 192.168.0.1 (circled in orange with a circled '4')
- DNS Server Address: 192.168.0.1
- Host Name: nbm.patlite.jp
- Domain Name: (empty)
- HTTP Command Control Function: ☒ 有効 (Effective) ☐ 無効 (Ineffective)

At the bottom right, there is a '設定' (Settings) button circled in orange with a circled '5' next to it.



【事務所側 NBM-D88】 RSHコマンド送信設定を行います。

① 「セットアップ項目」 > 「RSHコマンド送信設定」 を選択

② 名称を入力（動作がわかるもの。6文字以下推奨）

③ 制御するパトライト、IFコンバーターのIPアドレスを入力

④ 制御するパトライト、IFコンバーターの
RSHコマンド受信設定の共通ログイン名を入力

⑤ 送信するRSHコマンドを入力

コマンド例)

- ・パトライト 10秒間 緑点減 : alert 992990 10
- ・パトライト 接点出力1(DO1)をON : alert do 19
- ・パトライト 接点出力1(DO1)をOFF : alert do 09
- ・パトライト 音声1を再生 : sound 1
- ・IFコンバータ 接点出力1(DO1)を5秒間ON : alert 19 5
- ・全動作OFF : clear

⑥ 最後に「設定」をクリック

【注意事項】

- ・登録できるRSHコマンドは最大8個までです。

PATLITE Network Interface Converter FirmwareVersion 2.01

RSHコマンド送信設定

番号	名称	送信先アドレス	アカウント
送信コマンド			
1	② 入ゲート開	③ 192.168.0.180	④ patlite
	⑤ コマンド : alert 19 5		
2	出ゲート開	192.168.0.180	patlite
	コマンド : alert 91 5		
3	緑点灯10秒	192.168.0.160	patlite
	コマンド : alert 991999 10		
4	赤点滅10秒	192.168.0.160	patlite
	コマンド : alert 299999 10		
5	声1登録車両	192.168.0.160	patlite
	コマンド : sound 1		
8			
	コマンド :		

⑥ 設定

※ゲート機器と連携するIFコンバーターへのコマンドは最初の方に登録する（できるだけ遅延動作を避けるため）

【事務所側 NBM-D88】 デジタル入力（接点入力） 設定を行います。



- ① 「動作設定項目」 > 「デジタル入力設定」 を選択
- ② 信号定義を「状態」にする
- ③ 「ON状態時の動作設定」にて、送信するRSHコマンドを選択する
※右図は、パトライトを10秒間緑点滅し、接点出力1（DO1）をON
- ④ 「OFF状態時の動作設定」にて、送信するRSHコマンドを選択する
※右図は、パトライトの接点出力1（DO1）をOFF
- ⑤ 最後に「設定」をクリック

■ ゲート側：パトライト設置の場合（パトライト経由でゲート機器と連携）

IFコンバーターの接点入力1(DI1)のオン時間に応じて、
パトライトの接点出力1(DO1)も動作します（1ショットパルス出力）。

■ ゲート側：IFコンバーター設置の場合（IFコンバーター経由でゲート機器と連携）

- ・ ②の信号定義を「ON状態」にし、③のRSHコマンドでON時間を指定した
IFコンバータの接点出力コマンドを選択すれば1ショットパルス出力が可能です。

■ ゲート側：パトライト設置の場合

The screenshot shows the 'デジタル入力設定' (Digital Input Setting) page. The left sidebar has 'デジタル入力設定' selected. The main area is divided into 'デジタル入力 1' (Digital Input 1) and 'ON 状態時の動作設定 1' (ON State Action Setting 1). In the 'デジタル入力 1' section, the '信号定義' (Signal Definition) is set to '状態' (Status). In the 'ON 状態時の動作設定 1' section, the 'RSH コマンド送信' (RSH Command Transmission) is configured with '1 緑点滅10秒' (1 Green flash 10 seconds) and '2 接点 1 ON' (2 Contact 1 ON). The 'OFF 状態時の動作設定 1' (OFF State Action Setting 1) section is also visible, showing '3 接点 1 OFF' (3 Contact 1 OFF) selected for RSH command transmission. The bottom right corner has a '設定' (Set) button.

【ゲート側 NB-D42MP】 IPアドレスの設定を行います。



- ① PCのブラウザでIFコンバーターにアクセス

※出荷時のアドレス：192.168.10.1

- ② ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力

ユーザー名：patlite

パスワード：patlite

- ③ 「本体設定」 > 「ネットワーク設定」を選択

- ④ IPv4設定で「手動設定」にし、
IPアドレス情報を入力

- ⑤ 「設定」をクリック

機体名称: Interface Converter, MAC アドレス: 80:39:e5:02:65:b1, Firmware Version: 2.00

本体設定 > ネットワーク設定

① ネットワーク設定

IPv4 設定方法: ☒ 手動設定 ☐ 自動設定

IPアドレス: 192.168.0.15 ②

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ:

デフォルトゲートウェイのない環境で、RSHコマンドを使用する場合は登録なし(空欄)

DNSサーバーアドレス 設定方法: ☒ 手動設定 ☐ 自動設定

DNSサーバーアドレス: 0.0.0.0

ホスト名



【ゲート側 NB-D42MP】各種機能の有効化を行います。

※出荷状態では各種機能が無効になっています。

① 「本体設定」 > 「機能の有効化」 を選択

② 本体機能設定
・ RSHコマンド受信機能
・ HTTPコマンド制御
を“有効”にする

③ 本体制御設定
全項目を“有効”にする

④ 最後に「設定」をクリック

The screenshot shows the PATLITE web interface for an Interface Converter. The top bar displays the device name 'Interface Converter', MAC address '80:39:e5:02:65:b1', and Firmware Version '2.00'. The left sidebar shows a menu with '本体設定' (Device Settings) selected, and '機能の有効化' (Enable Functions) highlighted. The main content area is divided into three sections: '本体機能設定' (Device Function Settings), '本体制御設定' (Device Control Settings), and 'SNMP設定' (SNMP Settings). In the '本体機能設定' section, 'RSHコマンド受信機能' and 'HTTPコマンド制御' are being set to '有効' (Enabled). In the '本体制御設定' section, all control points (接点入力 1-4 and 接点出力 1-2) are being set to '有効' (Enabled). The 'SNMP設定' section shows 'SNMPコマンド受信' set to '有効' (Enabled). A '設定' (Settings) button is visible in the top right corner.

設定項目	状態
SSHコマンド受信機能	無効
RSHコマンド受信機能	有効
HTTPコマンド制御	有効
ソケット通信設定	無効
変化情報送信	無効
LTE通信機能	無効
メール定時送信機能	無効
定期再起動機能	無効
接点入力 1	有効
接点入力 2	有効
接点入力 3	有効
接点入力 4	有効
接点出力 1	有効
接点出力 2	有効
SNMPコマンド受信	有効

【ゲート側 NB-D42MP】 RSHコマンド受信設定を行います。



① 「コマンド受信設定」 > 「RSH/SSHコマンド受信設定」 を選択

② RSHコマンド受信機能を「有効」にする

③ RSHコマンド受信設定の
送信元アドレス指定を「無効」にする

④ RSHコマンド受信時の共通ログイン名を入力
※IFコンバータ側のRSHコマンド送信設定に
入力したものとあわせる

⑤ 最後に「設定」をクリック

【NHVシリーズパトライト】 IPアドレスの設定を行います。



- ① PCのブラウザでIFコンバーターにアクセス

※出荷時のアドレス：192.168.10.1

- ② ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力

ユーザー名：patlite

パスワード：patlite

- ③ 「本体設定」 > 「ネットワーク設定」を選択

- ④ IPv4設定で「手動設定」にし、
IPアドレス情報を入力

- ⑤ 「設定」を選択

機体名称: Network Signal Tower | MAC アドレス: 80:39:e5:02:52:5c | Firmware Version: 1.10

本体設定 > ネットワーク設定

① ネットワーク設定

IPv4 設定方法: ☒ 手動設定 ☐ 自動設定

IPアドレス: 192.168.0.105

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ:

デフォルトゲートウェイのない環境で、RSHコマンドを使用する場合は登録なし(空欄)

② ③

DNSサーバーアドレス 設定方法: ☒ 手動設定 ☐ 自動設定

DNSサーバーアドレス: 0.0.0.0

設定

【NHVシリーズパトライト】各種機能の有効化を行います。

※出荷状態では各種機能が無効になっています。



① 「本体設定」 > 「機能の有効化」 を選択

② 本体機能設定：
・ RSHコマンド受信機能
・ HTTPコマンド制御
を“有効”にする

③ 本体制御設定：
全項目を“有効”にする

④ 最後に「設定」を選択

PATLITE 機器名称 Network Signal Tower MAC アドレス 80:39:e5:02:52:5c Firmware Version 1.10

本体設定 > 機能の有効化

① 機能の有効化

② 本体機能設定

機能名	無効	有効
SSHコマンド受信機能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
RSHコマンド受信機能	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
HTTPコマンド制御	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ソケット通信設定	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
変化情報送信	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
LTE通信機能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

③ 本体制御設定

機能名	無効	有効
クリアボタン	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
テストボタン	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
音量 +/- ボタン	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点入力 ③	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点入力 2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点入力 3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点入力 4	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点出力 1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
接点出力 2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

④ キャンセル 設定

【NHVシリーズパトライト】送出する音声を登録します。



- ① 音声登録 > 「音声登録」を選択
- ② 登録するチャンネルを選択
- ③ 音声タイトルを入力
- ④ 送出するメッセージを入力
- ⑤ 言語、声（男性/女性）、トーン、速度を選択
- ⑥ 「視聴する」を押して音声を確認
- ⑦ 音声の前後に通知音（チャイムやブザー）を付加する場合は、付加する音を選択
- ⑧ 「チャンネルリストに追加」を押す
- ⑨ 最後に「設定」押す

PATLITE 機器名称: Network Signal Tower MAC アドレス: 80:39:e5:02:52:5c Firmware Version: 1.10

音声登録 > 音声登録

① 音声登録

登録チャンネル ② 1

音声タイトル ③ エリア1

使用領域: 47KB / 40960KB (use 0.12%)

音声種別: ☒ 音声合成 ☐ MP3データ

音声合成

テキスト ④

エリア1が、高濃になっています。至急、確認してください。

入力文字数 28 / 400文字

言語: 日本語

声: ⑤ 男性

トーン: 0

速度: 0

音声試聴 ⑥ 試聴する

通知音再生

通知音 (前): ⑦ 未選択

通知音 (後): 未選択

⑧ チャンネルリストに追加

チャンネルリスト

チャンネル: CH 1 ~ CH 60

CH	タイトル	LineOut	再生	停止	削除
CH 1	エリア1	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	削除
CH 2		<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-
CH 3		<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-
CH 4		<input checked="" type="checkbox"/>	-	-	-

【NHVシリーズパトライト】 RSHコマンド受信設定を行います。



① 「コマンド受信設定」 > 「RSH/SSHコマンド受信設定」 を選択

② RSHコマンド受信機能を「有効」にする

③ タイマーリストアを「個別」にする

④ RSHコマンド受信設定の
送信元アドレス指定を「無効」にする

⑤ RSHコマンド受信時の共通ログイン名を入力
※IFコンバータ側のRSHコマンド送信設定に
入力したものとあわせる

⑥ 最後に「設定」をクリック

The screenshot shows the PATLITE web interface for configuring RSH/SSH command reception. The sidebar on the left has a menu where 'RSH / SSHコマンド受信設定' is selected and highlighted with a red box and a circled '1'. The main content area shows the following settings:

- RSH / SSHコマンド受信設定**
 - RSHコマンド受信機能: Set to '有効' (Enabled) with a red box and a circled '2'.
 - SSHコマンド受信機能: Set to '無効' (Disabled).
 - タイマーリストア: Set to '個別' (Individual) with a red box and a circled '3'.
- コマンド受信時通知方法**
 - メール送信: Set to '無効' (Disabled).
 - SNMP通知: Set to '無効' (Disabled).
- RSHコマンド受信設定**
 - 送信元アドレス指定: Set to '無効' (Disabled) with a red box and a circled '4'.
 - 共通ログイン名: Set to 'patlite' with a red box and a circled '5'.

In the top right corner, there is a '設定' (Settings) button highlighted with a red box and a circled '6'.

【参考】アラーム/外部機器連動 設計シート

外部機器との連携を実現するためのIOユニット、IFコンバーターの設計プランシート（各機器の設定と紐づけ）と例です。

ASE334 アラームルール				<設定>		IOユニットADAM 接点出力		<配線>		事務所側 IFコンバーター NBM-D88						
例：照合	1	登録車両 正門入	●	●	CH 0	登録車両 正門入	600ms	●	DI 1	接点入力	ON	●	<設定> RSHコマンド送信（送信先・コマンド）			
	2	登録車両 正門出	●	●	CH 1	登録車両 正門出	600ms	●		OFF	●	1	正門入ゲート開5秒	192.168.0.180	alert 19 5	
	3	未登録車両	●	●	CH 2	未登録車両	600ms	●	DI 2	ON	●	2	正門出ゲート開5秒	192.168.0.180	alert 91 5	
例：滞留	4	滞留8時間	●	●	CH 3	滞留8時間	600ms	●	DI 3	OFF	●	3	パトライト緑点灯10秒	192.168.0.160	alert 991999 10	
照合	1				CH 0				DI 4	ON	●	4	パトライト赤点滅10秒	192.168.0.160	alert 299999 10	
	2				CH 1				OFF	●	5	パトライト音声1	192.168.0.160	sound 1		
	3				CH 2				ON	●	6	パトライト音声2	192.168.0.160	sound 2		
	4				CH 3				OFF	●	7	パトライト音声3	192.168.0.160	sound 3		
	5				CH 4				ON	●	8					
	6				CH 5				DI 1	ON		1				
	7				CH 6				OFF		2					
	8				CH 7				DI 2	ON		3				
	9				CH 8				OFF		4					
	10				CH 9				ON		5					
滞留	1				CH 10				DI 3	OFF		6				
	2				CH 11				ON		7					
	3				CH 12				DI 4	OFF	8					
	4				CH 13				ON		接点出力					
	5				CH 14				DI 5	OFF	DO 1					
	6				CH 15				ON		DO 2					
	7								DI 6	OFF	DO 3					
	8								ON		DO 4					
	9								DI 7	OFF	DO 5					
	10															



Panasonic CONNECT

版	日付	変更内容
1.0版	2025.6	・初版 発行
1.1版	2025.9.16	・P.8, P18 IOユニットの接点出力についての誤記修正 “メイク時間（オン）時間” → “オン時間”